

セ ボ ネ

タガヤ
ランティア
ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

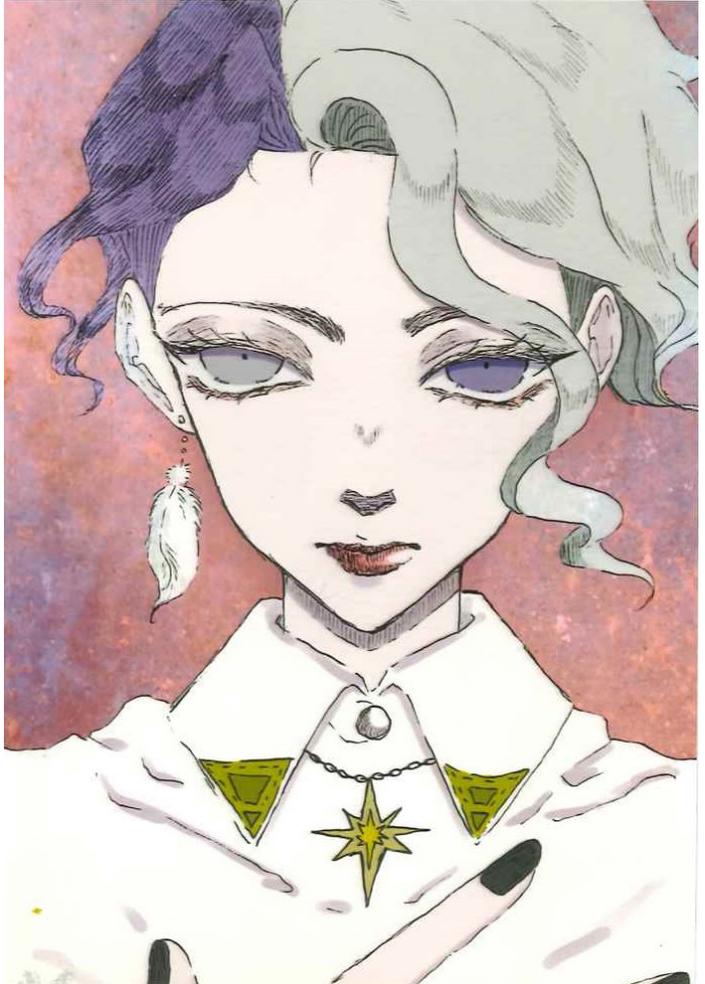
2023.09 No.233

今月のトピック

- 特集 P.2-5
学校でも家でもない「居場所」が若者に与えるものとは?
学生が運営する「あいりす」から考える
- せたがやキラリ人 P.6
森下 美奈子さんとみーちゃん
- 世田谷ボランティア協会の取り組み P.7
出張! ボラセン出前授業「ボランティアセミナー」

●イラストレーター 白棕 理
趣味で絵を描いています。

●わたしの世田谷
わたしにとっての世田谷区は、豊かな自然とあたたかな人たちがいる居心地のいいところです。



学校でも家でもない「居場所」が若者に与えるものとは？
大学生が運営する「あいりす」から考える



地域の共同体の力が弱まり、家族化の拡大や高齢の単身世帯の増加で、「孤立」は全世代的な問題になっています。今年3月、孤独・孤立対策推進法が成立したことも話題になりました。今回、特に「若者」の居場所をつくるための区と昭和女子大学との大学連携事業、三軒茶屋にある若者の居場所「あいりす」を取材しました。お話を伺った3人の4年生は、入学した令和2（2020）年4月からいきなりオンライン授業を受けてきた世代。「あいりす」は、活動する大学生にとっても、利用する若者たちにとっても大切な居場所になっています。学校でも家でもない「居場所」の存在が、若者にもたらすものとは？

（取材／編集委員 清藤 千秋）

区と大学が連携した
居場所づくりの事業

「あいりす」が誕生したのは平成27（2015）年のこと。「若者支援の分野における連携協力に関する協定」に基づき、世田谷区と昭和女子大学が提携して、大学生を運営主体とした居場所として開設されました。現在は心理学科の総合演習の授業の中に組み込まれ、学生たちが世代交代をしながら運営が受け継がれてきています。

今回、お話を伺ったのは、4年生のわかぼん、あくちゃん、きーちゃんのニックネームで親しまれる3人。「あいりす」に参加しようとしたきっかけを聞いてみました。

わかぼん…私は3年生の時から参加しました。不純な理由かもしれませんが、コロナ禍で1、2年生の時は授業とバイトしかできなくて、同じ心理学科内で友

だちが少なかったので、友だちが増えるきっかけになったら、と思っただけです。

あーちゃん…1年生の時から活動に参加しています。コロナ禍はオンラインでの開催だったんですよ。自分が子どもの頃から学童やプレーパークといった場所にお世話になってきたので、個人的に「第三の居場所」という概念には興味があります。大学の友達とも違うつながりをここで得られたのは



世田谷区役所三軒茶屋分庁舎5階の「あいりす」

貴重な経験だなと思います。

きーちゃん…私も1年生からです。コロナの自粛で何もできていない、という思いがあり、大学のポータルサイトで募集を見たのがきっかけで応募しました。思うような大学生活が送れない中で、ここで人と接して、「その服いいじゃん」「髪型超ステキだね」と言い合うだけで、すごくほっとしたのを覚えています。私にとってはここがとても大切な居場所です。ずっとオンライン開催だったので、初めてリアルで会った時の感動は忘れられません。

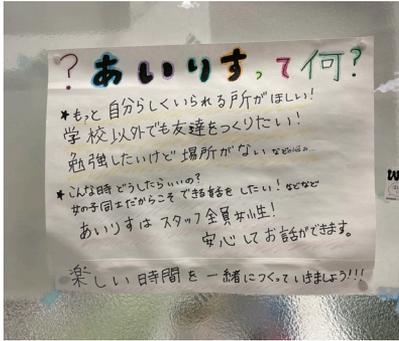
自分の話をして「否定されない」
居場所の大切さ

「あいりす」は小学校5年生〜24歳までの女子を対象にした場所。開室しているのは月曜日と木曜日の午後3時30分〜午後8時。小学生の利用者もたまにいます。ことですが、現在は、高校生〜大

学生世代の利用が多いそうです。運営のサポートをしている世田谷区立希望丘青少年交流センター（アップス）の阿部聡子さんは次のように分析します。

「中高生になってくると、お家以外に居場所を見つけないのがなかなか難しいですよ。公園でたむろしていても煙たがられる時代ですし、どこかお店に入ると何かしら注文しなければならず、お金が発生してしまう。何気なく過ごせる場所、というポイントが大事なんですよ」

世田谷区の若者情報誌「Cheer!」には、「あいりす」をはじめ、若者が利用できる遊び・居場所・相談などの場所が紹介されています。その情報を見た大人が、子どもに「こういう場所があるよ」と紹介するケースが多いそう。友だちを作るのが苦手、学校になかなか馴染めない、という子どもが、保護者や保健師さんから紹介されて利用につながることも。



入り口に貼られた「あいらすって何？」のポスター

「たぶん、自分のことを話しても『否定されない』という体験が利用者さんにとっては大きく、それで足を運びやすくなっているのでは、と感じます」と阿部さん。筆者は当初、利用者さんは、同世代ないし少し年上のお姉さんに何か悩みを相談をしにくる、というイメージを勝手に持っていたのですが、どうやら違うよう。

きーちゃん…こういうことがあつてさ、という愚痴みたいなのはたまにあります、相談とか

ガツツリ聞いてほしい、というのはあまりないかもしれません。

あーちゃん…そうなんです、みんな、アドバイスを求めているわけではないんですね。ちよつと話を聞いてほしい、みたいな感じなので、「こうした方がいいよ」と私たちが意見を伝える、っていうのはないですね。

学生たちの関わり合いの様子を見る中で、阿部さんは「みんな何気なく過ごしているようで、利用者さんの表情や仕草などを細かく見ながら対応してくれている」と語ります。言葉のかけ方一つとっても、深く掘り下げすぎるようなことになってしまったら、ご本人にとってここもまた苦しい居場所になってしまいますから。

誰かを傷つけないための

「適度な距離感」とは？

興味深かったのは、取材の中で出た「適度な距離感」という言葉。

あーちゃん…こちらから家族の話につつこんでいかないと、そういう距離感の測り方を大事にしています。「学校どう?」「みたいな声かけも、「実は(不登校で)行けてないんだよね」と言われることがある。その話題で居心地が悪くなってしまうと申し訳ないので、向こうから話してくれるまで自分からはそれを話題にしない、という線引きを学びました。

わかばん…私も今、初めましたの利用者さんには、極力、家族や学校のことは直接聞かないようにしています。これまで、相手のことを知りたいと思って特に何も考えずに聞いてきたことが、相手を傷つけていたことがあったかもしれない、と、関わり合いの中で考えさせられました。まずは『あいらす』は何で知ってくれたの?』と聞いてみて、学校経由だった場合、何か不登校などの事情があるのかな?とわかることもある。他にも、「休みの日何してるの?」



開室に向けて準備をする学生たち

と聞いて「家にいることが多いけど、そうすると親が…」と返ってきたら、家族とうまくいっていないのかな? と推測できません。遠回りでも、相手を知り、仲良くするのだと学びました。

このような姿勢は、多様なバックグラウンドを持った他者と関わる時には欠かせない礼節ですが、人間はいろんな面で、自分にとつて当然のことは相手にとつても当然と思ひ込みがち。学生たちが培ってきたコミュニケーションス

キルを聞き取りながら、大人として背筋が伸びる思いでした。

開室日は、学生たちはその日の目標をたて、20時に活動が終わると振り返りの時間の中で、その目標を達成できたかどうかを確認し合うそう。先輩からもアドバイスをもらったりしながら、学生たちが関わり合いの方法をさまざまに模索してきた様子が伺えました。

ありのままの自分が肯定される

居場所として

居場所というものが持つ価値について、世田谷区の子ども・若者部 子ども・若者支援課 若者支援担当係長の村主友明^{すくもともあき}さんは次のように教えてくれました。

「世田谷区は全国的にも若者支援にはかなり力を入れている自治体かと思えます。39歳までの方が幅広く利用できる青少年交流センターから、児童館のように小さな子どもたちが元気に遊べる居場所

所、そして、この『あいらず』や『たからばこ』(※)のように少人数規模で話せる、遊べる居場所など、ニーズに応じた違いもあります。それぞれの居場所がある若者ほど自己肯定感が高い、という調査結果が、5年前に区が実施した『若者調査』で出ていますので、今後居場所づくりの事業には力を入れたいと考えています」

居場所ってなんだろう? と、色々と考えさせられた取材となりました。アドバイスがほしいわけじゃないし、悩みごとに対する解決方法を探しにきているわけじゃない、ただ他愛もない会話ができて、「ほっ」と一息つける場所。

きーちゃんが言っていた通り、そこに「その服いいじゃん」「髪型超ステキだね」と言い合える誰かがいるだけでいいのだと思います。居場所とは、ありのままの自分がそこにいるだけで肯定される場所なのだ、改めて考えさせられました。

※日本大学文理学部の大学生が運営主体となって平成27(2015)年にスタートした上北沢の若者の居場所。現在はさまざまな大学から学生がスタッフとして参加している。



みんなのコミュニカフエさくら
もりした
森下 美奈子さんと
みーちゃん

森下美奈子さんが「シエアス
ペース深沢」で「みんなのコミュニ
ニテイクアフェさくら」桜の木の下
で0歳から100歳をつなぐコ
ミュニティ」を開くストーリー
はさながら一冊の本。深沢の桜並
木そばにある建築家の稲垣道子さ
ん宅の一階が、シエアスペース深
沢です。稲垣さんは今年の桜の花
の時期に急逝されました。その空
間の棚の上では今も道子さんが微
笑んでいます。165本の桜の並
木を守りたい一心で仕切ってこら
れたのが「さくらフォーラム」。
その遺志を美奈子さんたちがつな
いでいます。

故郷の倉敷で12年間、高校の国

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方たちを
ご紹介します
取材●星野 弥生

語の教師
だった美奈
子さん、楽
しい日々で
したが、お
母さんを亡
くし、人生
最大の苦し

みが……。その悲しみを力にお茶、
和菓子作り、着付けに励み、急に
和風喫茶店をやりたくなり、34歳
の挑戦を東京で！「初めての一人
暮らしは楽しいことばかり。上
京して8か月、桜新町サザエさん
通りに和喫茶『紫光庵』を開店し
ました」。店名は「紫の上」と「光
源氏」から。

開店から1年半、店先で鳴いて
いたのがみーちゃんでした。「こ
の子とやっていこうと看板ネコ
に。これが福ネコで、癒しの空間
になったようです」。商店街の福
引に、みけねこもなかと抹茶券を
提供したら、当たって訪れたのが
稲垣さん。開店して10年、楽しく

達成感がありました。第三ス
テージを目指し、「お店やめます」
と宣言したところ、稲垣さんから
ご自宅の一角を地域に開くことを
頼まれ、まず子育てサロン開催の
お手伝い。そして「ここに住まな
い？」と言われビックリ。稲垣さ
んはあの独特の優しく鋭い目で、
美奈子さんなら任せられると見抜
かれたのですね。

心地良い空間は、毎月第二土曜
日の12時から18時まで「みんなの
コミュニカフエさくら」に変
身！もちろん、みーちゃんはい
つもそこに。

まだまだやりたいことが湧いて
きますが、時間が足りないのが悩
み。町会の役員としては紙芝居や
落語会の企画など。「月々木は訪
問介護。金日は民生委員など地
域活動、ボランティア活動」を楽
しそうにしている美奈子さん。人
生のどんな場面も「楽しい！」と
語る彼女の傍らのみーちゃんは、
やっぱり福ネコでした。

出張！ボラセン出前授業 「ボランティアアセセミナー」

世田谷ボランティア協会では、未来のボランティアを育てることを目指して、学校へ伺い、児童や生徒に向けたボランティアセミナーを実施しています。世田谷区立松沢中学校での授業の様子をご紹介します。

7月7日（金）、中学1年生全3クラスを対象にボランティアセミナーを実施しました。授業時間



は5、6時間目の2コマ。まず前半に、ボランティアセンター職員によるボランティアについての基礎的なお話。ボランティアにはどんな活動があるのかであったり、ボランティア活動をする上で大切な4つのポイントについて具体的な例を交えながらお伝えしました。例えば、4つのポイントの1つには「先駆性・開拓性」があります。職員の近藤は車いすユーザーのため、「松沢中学校に車いすユーザーの生徒がいた時、どうすれば快適に過ごせるかな？」

段差があったらどうしたらいいかな？」と問いかけると、「段差があったらスロープを置いてあげる！松沢中はエレベーターがないから、階段を上る時はみんなで運んであげる！」など、たくさんのアイデアを発表してくれました。このような課題について考え解決していくのもボランティア活動の大切なポイントです。

授業後半は、実際にボランティア活動に取り組む大学生数名から活動の体験をお話をしてもらいました。年齢の近い大学生から具体的なお話を聞くことで、よりボランティア活動を身近に感じてもらうことを目指しています。

授業後、生徒の皆さんからは「いろいろなボランティアがあることを知ることができてよかった。自分の得意なことから始めてみたい」といった感想を聞きました。早速、帰りに、近藤の車いすを階段から下ろしてくれた生徒もいととても嬉しかったです。

文：近藤 浩紀

ボランティアセンターへの依頼は、お電話ください。
TEL：03-5712-5101

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

東 一緒に勉強してくれるボランティアを募集

等々力にある児童福祉施設で小学生から高校生までの子どもたちに寄り添ってくれるお兄さん・お姉さんを募集しています。小学生には主に宿題の見守り、中学生とは話し相手としても関わっていただけとうれしいです。学習支援の経験がなくてもまずは気軽にご連絡ください。

●日時/月々金曜日の18時〜20時

(週1回、1回1時間でも可。ご相談ください)
●場所/児童福祉施設内の学習室
●条件/学生。ボランティア保険加入(費用は事業所負担)、交通費支給
●問合せ/玉川ボランティアピュ
TEL 3707・3528
tamabori@otagaisama.or.jp

発達障害のある女性の余暇活動を一緒に楽しんでもらえる方

発達障害のある女性が、一緒に余暇活動をしてくれる方を探しています。女性は集団活動が苦手です。人とかかわるのが大好きで明るい性格ですが、一人で大勢の中に入っていくことがとても難しいので、余暇活動(スポーツ、モノ作り、自然散策など)と一緒にしてくれる方を求めています。誰かと一緒に地域イベントにも参加できます。関心のある方がいましたら気軽にご連絡ください。

●日時/2カ月に1回程度。本人
相談して都合の合う日時を決めます
●場所/世田谷区内。現地集合、現地解散。女性は車で移動するので、駐車ができる施設や公園
●条件/犬のアレルギーがない方(女性は愛犬と一緒にすることが多いです)
●問合せ/玉川ボランティアピュ
TEL 3707・3528
tamabori@otagaisama.or.jp

小

中学校2年生男子の話し相手ボランティア募集

中2男子の話し相手になってくださる方を募集しています。ポケモンが好きで、ポケモンと一緒に話したりして遊んで頂けたらうれしいです。

●日時／平日週1回（曜日は要相談）、午後の1時間程度

●場所／世田谷区千歳台

●問合せ／鳥山ボランティアアビュ

TEL 6909・0333

karasubora@otagaisama.or.jp

小

千歳台福祉園の秋桜祭りのボランティア募集

知的障害者の通所型・生活介護施設である世田谷区立千歳台福祉園で開催する秋桜（コスモス）祭りのボランティアを募集します。秋桜祭りでは様々な催しや企画をしており、ご利用者やご家族はじめ地域の方々に楽しんで頂けるようなお祭りを開催したいと思えます。そこでお祭りの運営のお手伝いをして頂ける方を募集致します。地域のお祭りを一緒に盛り上げてくれる方大歓迎です。

●日時／9月16日（土）8時20分

知的障害者の通所型・生活介護施設である世田谷区立千歳台福祉園で開催する秋桜（コスモス）祭りのボランティアを募集します。

～17時頃

●場所／千歳台福祉園（世田谷区千歳台3-31-9）

●交通／千歳船橋駅から京王バス千歳烏山行き5分バス停廻沢（めぐりさわ）下車すぐ

●条件／謝礼あり（4000円）、持ち物は上履き・印鑑（シヤチハタ可）・ボールペン

●問合せ／世田谷区立千歳台福祉園 担当 小泉・鈴木

TEL 3789・9801

chitosedai@hemis.ocn.ne.jp

東

高齢者の体操グループで お手伝いをしてくれる方を募集しています

高齢者の介護予防のための体操グループです。参加者は80歳代の方が中心ですが、暑さにも負けず皆さん元気に参加されています。ちよとした会場準備や参加者へのお声掛けを手伝ってくださる方を募集しています。楽しんで参加していただける方でしたらどんなでも大丈夫です。毎週の参加は難

しい方でもご相談ください。お待ちしています。

●日時／毎週月曜日 13時半～15時

●場所／集会所

●交通／二子玉川駅徒歩10分程度

●問合せ／二子玉川あんしんすこやかセンター 担当 衣川・正一

TEL 5797・5516

東

いっしょに勉強をしてくれる女性求む

等々力近辺にお住いの小学校低学年の女の子が、平日の放課後や週末に、一緒に宿題をしてくれる方を探しています。学習がゆっくりめで、音読や計算に時間がかかります。そばに寄り添って、女の子のペースに合わせて教えてあげてください。お人形遊びが好きで、明るくて活発な女の子です。子ども好きで、一緒に勉強をして

くれる方、お待ちしています。

●日時／平日放課後。土日。時間応相談。週1回から。

●場所／自宅

●条件／女性、交通費応相談

●問合せ／玉川ボランティアアビュ

TEL 3707・3528

tamabara@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

有償スタッフ募集

東 目の不自由な方の 夕食作りをしてくれる女性募集

東玉川にお住まいの目の不自由な80代の女性が、夕食作りをしてくれる女性を探しています。今は全く目が見えなくなってしまう、困っています。金曜日か土曜日の夕方の時間帯にお願いしたいです。ネットショッピングもできる方ですと助かります。女性の方のご応募お待ちしております。

東 80代男性の見守りをお願いします

車いす生活の81歳の男性（桜新町在住）が、奥様が留守の時に一緒にいてトイレ介助をしてくれる方を求めています。寡黙ですが元気な方です。将棋をしてくれる男性の応募をお待ちしています。

●日時／月1回
●場所／桜新町2丁目自宅

- 日時／金曜か土曜17時〜19時
- 場所／東玉川の自宅
- 交通／田園調布駅徒歩15分
- 条件／女性、時給1000円（緊急介護人の登録）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabou@otagaisama.or.jp

- 交通／桜新町駅より徒歩1分
- 条件／60〜80代前半の男性、1000円/時の支給あり（区の緊急介護人制度を利用）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabou@otagaisama.or.jp

講座・その他・募集

小 傾聴ボランティア講座（全5回） @碓波ボランティアビューロー準備室

傾聴ボランティア活動とは、お話し相手が必要としてくれる方を訪ね、継続的にお話しを聴く活動のことです。この講座では、ワークやロールプレイなどの体験学習を中心に、話すこと・聴くことをグループで考え、自身の気持ちを感じながら学んでいきます。あなたも傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか？

●日時／9月19日、26日、10月3日、10日、17日（毎週火）
13時半〜16時半

小 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @日本大学商学部

2023年度3回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を日本大学商学部にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／10月7日（土）13時30分〜16時30分※13時より受付開始
●会場／日本大学商学部1号館（碓波2-1）

- 場所／成城6丁目事務所棟1階活動フロア
- 交通／成城学園前駅徒歩3分
- 申込／9月1日（金）11時から電話でお申し込みください
- 参加費／8000円
- 条件／全回参加できる方。講座修了後、傾聴ボランティア活動を始められる方
- 問合せ／碓波ボランティアビューロー準備室
TEL 6411・4007

- 交通／祖師ヶ谷大蔵駅徒歩12分
- 参加費／無料
- 申込／10月6日（金）正午までに、せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォームまたはメールか電話にてお申し込みください。
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
saijai-info@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は8月19日時点の情報です。変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。



北沢ボランティアビューロー「手作り」市開催

昨年度好評いただいた「手作り市」を、今年も開催します！北沢ボランティアビューローで活動中の手作り作品を作る団体が多数参加します。バッグや手編みのマフラー、小物入れ、アクセサリーなどなど。売上は地域のボランティア活動推進に役立らせていただきます。皆様のお越しをお待ちしております。

●日時／10月7日(土) 10時半～15時
(入場は14時45分まで)

●場所／北沢ボランティアビューロー階

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●問合せ／北沢ボランティアビューロー 担当 中里

TEL 3420・2520

Kitabora@otagaisama.or.jp

秋の公開講座

「哲学の思考法から自分の生き方を考える」

今、私たちはかつてなく個別化し、個々人の生き方の面でも、社会をつくって生き方という面でも方向が見えなくなっています。だからこそ、哲学の思考法は重要です。哲学的思考法を、講義と話し合いを通して体感しつつ、ご自身の生き方に役立ててもらうことが、この講座の目的です。

第1回は人はどんなことに不安を感じるのか(不安の本質)、第2回ははどんなときに幸福を感じるのか(幸福の本質)を実際に話し合ってもらいながら、考えてみたいと思えます。

講師は哲学者・東京医科大学兼任教授 西研先生です。

●日時／10月5日(木)、11月2日(木) 13時～15時

●場所／東京ボランティア・市民活動センター(セントラルプラザ10階)

●交通／JR・地下鉄飯田橋駅すぐ

●参加費／1000円/回(1回受講も可)

●申込・問合せ／NPO法人東京コミュニケーションレッジ

TEL 5371・0743

college@nptcc.jp

http://www.nptcc.jp

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト(世田谷版GBER「ジーバー」)で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記QRコードからご覧ください。



東世田谷ボランティアセンター大規模改修のお知らせ

世田谷ボランティアセンターは、8月1日～12月末まで大規模改修を行います。その間、会議室・印刷室などの利用ができなくなります。利用再開は2024年1月5日(金)の予定です。会議室利用予約は11月1日(水)から受付開始します。期間中、センター窓口受付対応については以下の時間帯で対応いたします。

火～金 9時～21時
土・日 9時～17時
※事前連絡の上お越しください。

●物品の貸し出し
車いす、白杖の2点です。その他物品の貸し出しは早めにご相談ください。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ぽーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

9月には砧ボランティアビューロー準備室で傾聴ボランティア講座、10月には北沢ボランティアビューローで手作り市、日本大学商学部で災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編)を開催します。詳細はP.10-11をご覧ください。

◆ふらっと& with より

酷暑から秋へと季節が移り、体調管理に苦労したふらっとも一息つきます。ボランティアのみなさまも是非お立ち寄りください。元気にリハビリしています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

夏休みが明ける9月は、子どもたちの気持ち揺れやすい時期です。何か話したいことや聴いてほしいことがあれば、安心して電話をかけてきてほしいです。

編集後記

■30年ほど前、私がまだ幼少の頃、自宅周辺は地域のコミュニティがありました。幼なじみがいて一緒に公園で遊んだり、保護者同士やご近所の付き合いもあり、何か困ったらお願いできる関係性がありました。特集冒頭にもありますが、今は全世代で孤独が問題となっています。今回は若者の居場所「あいりす」取材しました。
■まだまだ続いている猛暑日と突然の雷雨。群馬に行った時に大粒の雹に見舞われ、車のボンネットが傷つき私の心も傷つきました…(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

